

1. 活動の名称

いきものがたり活動

2. 活動の概要

目的・目標	滋賀県が擁する琵琶湖の環境と生態系を保全するため、滋賀銀行は生物多様性の保全活動にストーリー性を持たせた活動を「いきものがたり活動」として展開。参加者は全てボランティアとしてその趣旨を理解し、活動することで、行内の人材育成・地域社会の環境意識向上を目的としています。
活動エリア	琵琶湖周辺
活動時期	年間を通して

3. 取組内容

琵琶湖の環境と生態系保全のために・・・

(1)ヨシ刈り・ヨシ苗植えボランティア：魚や水鳥の産卵場所であるヨシ群落を守り・育てる活動。

(2)ニゴロブナ・ワタカ放流活動：自然エネルギーの導入促進と、琵琶湖の環境と生態系を取り戻すことを目的としたサービスである「カーボンニュートラルローン未来よし」を活用し、琵琶湖の固有種で絶滅危惧種のニゴロブナ・ワタカを保護・育成・放流する活動。

(3)外来魚駆除・釣りボランティア：ブラックバスやブルーギル等の侵略外来魚を駆除する活動。

(4)森づくりサポート活動：森を保全することにより、琵琶湖に注ぐ水をきれいにするための活動。

(1)～(3)この循環型の活動を称して「いきものがたり活動」としています。加えて、上記(4)の活動も行う等、様々な活動に全役職員に対してボランティアを募り、また活動の趣旨に賛同いただく取引先の方々と協働した活動を展開しています。



ヨシ苗植



ヨシ刈り



ニゴロブナ・ワタカ放流



外来魚釣りボランティア



森づくりサポート活動

URL: <http://www.shigagin.com/csr/act/index.html>

4. 今後の課題・将来像等

<現状認識・展望>

「いきものがたり活動」は、滋賀県内の生物多様性保全を目的としています。この活動を県民や当行のお客さま、お取引先さま等に幅広く知っていただくこと。また、当行役職員に対して環境保全の意識を向上させることを目的としています(環境教育)。

実際、各役職員が地域の環境保全に対して常にアンテナを張る姿勢が芽生え、各地域のボランティア活動へ積極的な参加をする等、活動に自主性と協調性が出てきました。これも当行が県内全域で営業活動をさせてもらっている効果だと思っています。今後も役職員が環境保全に関心を持ち、地域の社会的課題を解決できるお手伝いができることを目指して、この活動を継続していきたいと考えています。

また、滋賀県内に生息する生物の生態をも理解し、その変化を敏感に捉え、変化に対してはその対策を講じることができるよう、当行のこれらの活動を通じ、周辺の問題にも関心を持っていきたいと考えます。

<課題>

- ・県内全域に「いきものがたり活動」の幅を広げていくこと。
- ・持続可能な地域社会を構築するために、環境と経済が両立できる環境づくりをしていくこと。
- ・金融を通じて、地域の社会的課題を解決していける環境人材(モデレーター)を育成していくこと。

生物多様性は、滋賀県内に生息する豊かな生物たちの個性を尊重し、その生態系を結び付けていかなければなりません。琵琶湖の生物たちも私たちより長い歴史のなかで進化し多様性を進化させてきたことでしょう。個々の生物たちのつながりを断つことは我々の時代にはいけないと思います。次世代にもこの豊かな生物多様性を残していくことが我々の使命ではないでしょうか。

5. 連絡先等

株式会社滋賀銀行 総合企画部 CSR室
〒520-8686 大津市浜町1番38号
077-521-2207